

23_地域連携パス b.大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

意義：急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。

地域医療に関する医療体制を評価する。

定義の要約：

分子) 分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数

分母) 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数

2020年度実績

32人

59人

54.2%

(girasol 全国平均値 18.1%)

